

オムツ、離乳食も



岡村紀男さんは、自宅2階のリビングを開放して6人のスタッフとともに子育て広場「ほっとスペースじいちゃんち」を開いている。母子のリラックスした様子をやさしいまなざしで見つめていた(1月25日、大田区で)

2012
東京
ホッパ
びれいあ

子育てならぬ「孫育て」に奮闘するおじいちゃんが増えてくる。その名も「育爺」。

先月28日、稲城市で孫育てのためのセミナーが開かれた。主催したのは、NPO「エガリテ大手前」(杉並区)。参加者は、真剣な表情で、赤ちゃんの人形相手に、おむつ交換からも浴までを体験。離乳食づくりに挑んだ。

参加した同市の秋草幸雄さん(69)は、孫5人を抱える現役のおじいちゃん。「仕事ばかりだったので子育てはほ

とんど妻に任せっきりでした。でも、孫のためだったら、ひと肌脱ぎます」とうれしそう。

子育て支援を始めてしまったおじいちゃんもいる。昨年6月、自宅で子育て広場を開設したのは、大田区の岡村紀男さん(71)。18畳ある2階リビングを月4回開放し、6人のスタッフと育児に悩むお母さんらをサポートしている。

ハロウィーンやクリスマスなど、季節ごとにイベントも企画し、ママたちからは大好評。「いろいろな子どもたちの成長に立ち会えるのは何物にも代え難い喜び」と語る岡村さんは、同世代の人たちにも呼び掛けている。

「定年後、引きこもりたくないで、ぜひ『イクジイ』してみませんか」
(写真と文、伊藤紘二)

【メモ】NPO「エガリテ大手前」(<http://egaliteo.co.jp/>)が開催するセミナーは2年前からスタート。赤ちゃんの人形を使った実技だけでなく、「子育ての昔々」「子どもの成長と発達」などを学ぶ座学もあわせて受講する。古久保俊嗣代表は「団塊世代の再就職期が今年で終わるので、今後は孫育てに参加する人が増える」と予想。「講座などを通して、生活力も身に付けてもらえれば」としている。

育ジイしてみる？

調理実習では離乳食の作り方も学ぶ。料理の基礎を学んで生活力を向上させるのも、講座の狙いの一つだ



「孫・子育てセミナー」で、「もく浴」の指導を受ける調布市の竹厚勲さん(65)。赤ちゃん人形相手に奮闘していた(1月28日、稲城市で)



赤ちゃんの人形を抱くおじいちゃんたち。孫を思い出し、思わず笑みがこぼれた